

地方創生【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)】事業実績報告

1 交付対象事業の名称及び交付金の種類

地域密着・交流型「暮らし&テレワーク体験」施設を核とした下津井活性化プロジェクト	推進タイプ
--	-------

2 事業実施に至る背景

児島エリアにある下津井地区の人口は、直近10年で5,512人から4,310人へと大幅に減少(▲21.8%)しており、65歳以上の人口は超高齢社会の基準である21%を大きく超える43%となっている。地域の活力低下を招く人口減少と高齢化に対しては、域外人口を呼び込む取組を住民自らが考え行動を起こせる素地として、移住検討者やテレワーカー等を地域に繋ぐ「人との出会い」、地域の能動的な「関わり」、地域に滞留し生活を体験する「場の創出」が必要となる。また、下津井地区は、漁港や日本遺産のストーリーに欠かせない歴史や豊かな自然、瀬戸大橋を目の前に望むロケーションを有しているが、地域団体によるデジタルツールを活用した情報発信においては、高齢者割合の高さもあり、地域の魅力や特色を誰に向けて、どのように発信するのかノウハウの蓄積もなく、域外の人から見て何が地域の魅力になり得るのか、コンテンツを磨き上げる必要がある。

3 事業概要

下津井地区での暮らしやテレワークを体験できる、地域密着・交流型の施設を整備するとともに、地域団体等を運営主体とする、地域案内や先輩移住者との交流等の体験プログラムを実施する。また、Webサイト・Web広告・リーフレットの作成、インスタグラムやフェイスブックといったSNSの活用、移住プラットフォーム(SMOUT等)への情報掲載など、様々な媒体を介して地域の魅力を発信することにより、移住検討者やテレワーカーをはじめとする域外人口を下津井地区に呼び込む取組を行う。また、これらの取組を通じて、地域人材を育成し、事業終了後の自走へと繋げる。

【事業実績額、重要業績評価指標(KPI)及び実績値】

実績額 (交付金充当額) 単位:円	本事業における重要業績評価指標(KPI)					事業終了後の実績値	
	指標	基準値	指標値	単位	実績値	事業効果	
11,963,774 (5,981,887)	指標① 施設を利用した「移住世帯数」	(R3) 0	(R5) 6	世帯	2	地方創生に相当程度効果があつた	
	指標② 施設の「利用世帯数」	(R3) 0	(R5) 30	世帯	76		
	指標③ 移住、テレワークに関する相談受付件数	(R3) 0	(R5) 45	件	91		
	指標④ 下津井地区人口の減少抑制数 ※基準値はR2~R3の1年間の減少数	(R3) ▲118	(R5) 12 (▲106)	人	21 (▲97)		

【事業実施内容(詳細)】

事業内容	事業目的	事業成果	
		実施年月日	参加人数, 成果物等
体験施設の設置・運営・管理	移住検討者等が下津井地区での暮らし・テレワークを体験できる地域密着・交流型施設を設置し、運営・管理を行う。管理・運営は業務委託により、地域団体が主体となって行う。	令和5年4月～令和6年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●町並み保存地区の古民家を改修した、地域密着・交流型「暮らし&テレワーク体験」施設を2室設置。76組148人利用(計345泊)、2世帯3人移住。 ●地元企業らで構成される地域団体「しもついでしーびレッジ株式会社」が管理運営
受入体制の構築 魅力体験プログラムの実施	地域団体や先輩移住者、地域おこし協力隊員が中心となり、移住検討者の受入や相談体制を整える。また、様々な角度から下津井の魅力伝えるため、地域コーディネーター等による体験プログラムを実施し、地域との繋がりを深める。	令和5年4月～令和6年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●施設利用者や問い合わせへの個別相談に随時対応(91件) ●コーディネーターによる5つの体験プログラムを実施(まち歩き、古民家セミナー、創業セミナー、地域コミュニティへの参加、先輩移住者との交流会)。プログラム利用数は75組、計110回。
情報発信 プロモーションの実施	複数のチャンネルを通じた情報発信を行い、体験施設や地域の魅力や特性についての認知向上を図る。	令和5年4月～令和6年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●専用ホームページの改修・保守、WEB広告の実施、SNS開設・運用、リーフレット製作、移住検討者向けWebメディア掲出、利用者後追いDMの送付 ●移住イベント出展及び装飾物製作 ●周遊型イベントの開催。来場者約1,000人。

4 外部有識者からの評価

評価	外部有識者からの意見
有効	<ul style="list-style-type: none"> ・お試し住宅、地域のコーディネーター人材育成、移住者相談会は、事業の効果があつたと思われる。 ・インフルエンサーを活用するなど更なる情報発信に努めてほしい。 ・移住につなげることは難しいと思うが、お試し住宅は実際に宿泊し、町の雰囲気を体感できるため効果があつたと思う。